

男子が全勝で優勝飾る 京王電鉄杯10大学バスケ



▲全勝で優勝に花を添えたバスケットボール部男子
写真提供: sin's BASKETBALL PARADE 2004 (<http://www.s-bp.net/>)

は、大宮宏正(経済3・作新学院高)が優勝し、個人でも圧倒的な強さを見せつけた。

20回記念の今年は、新たに早慶の2校が加わり、全10校でのリーグ戦。5日間で9試合という過密日程を選手層の厚さで乗り切り、今年度から指揮をとる中原雄監督の一人ひとりの長所を伸ばすことに焦点を当てた指導が早くも結果に表れた。中原監督は「一試合一試合に全力で当たり、全試合で勝利を目指す」と今シーズンへの強い意気込みを語ってくれた。

昨年のインカレ王者・日大を迎えての優勝は、今年の活躍を期待させる。(松本 旬平・経済2)

最優秀選手賞 中川和之
ダンクコンテスト優勝 大宮宏正

第20回京王電鉄杯10大学バスケットボールフェスティバルが4月29日から5月3日まで、トヨタ府中スポーツセンター体育館で行われ、専大は見事、全勝優勝を遂げた。

中川和之(経済4・豊浦高)が最優秀選手賞を受賞。最終日に行われたダンクコンテストで

【ニュース専修5月号16面】

今後の活躍に期待



▲チームをまとめ主将の重責を果たした川村良子(撮影・関・淳弥)

を厚くしていきたい」と語った。

ここからの巻き返しに期待したい。(久我 智也・文2)

日本女子学生選抜バスケ6位

第21回日本女子学生選抜バスケットボール大会が、4月23日から25日まで、代々木第2体育館で行われ、専大は6位に終わった。

強豪8大学が出場した今大会。昨年インカレ準優勝という成績を残し、今大会でも期待された専大だが、大会を通して思うようなプレーが出来なかった。初戦の武庫川女子大戦では、イージーミスから失点を重ね、47-61で敗退。

続く大阪体大戦は71-44で勝利したが、鹿屋体大との5位決定戦では終盤に逆転され72-81で敗れた。

この結果に児玉茂監督は「新チームとなってからの練習量がまだ足りなかった。これからは体力強化とともに、チーム内の競争意識を高めることで選手層

【ニュース専修5月号16面】

田中2度目の優勝

全日本選抜レスリング フリースタイル120kg級で



▲圧倒的な強さで2度目の優勝を果たした田中(右)

明治乳業杯・全日本選抜レスリング大会が4月12、13の2日間にわたり駒沢体育館で行われ、フリースタイル120kg級で出場した田中章仁(経済4・三井高)が、同大会2度目となる優勝を果たした。

1試合目はTフォールでの圧勝。3人でのリーグ戦のため事実上の決勝戦となった2試合目では、互いに決め手を欠き延長戦にもつれ込むも、結果4-0で判定勝ち、優勝を決めた。大会後は、「苦戦してしまった。課題の残る内容でした」と振り返った田中だが、2試合とも相手にポイント

を与えていないという事実が、その実力を物語っていた。

1年次から数々の大会ですばらしい成績を収めてきた田中。学生生活最後の年に「出場する大会はすべて優勝を狙っていきます。まずは5月の東日本学生リーグ戦(団体)で、結果を残したい」と、主将としての自覚ものぞかせた。

また、4月24、25日に横浜文化体育館で行われたJOCジュニアオリンピックでは、フリースタイル55kg級で稲葉泰弘(経営1・霞ヶ浦高)が、74kg級では相内寿(経済2・光星学院高)が、96kg級では北村克哉(商1・日本工大付属東京工高)がそれぞれ3位に入賞するなど、今後に期待を抱かせる成績を残した。(高橋 伸明・文3)

【ニュース専修5月号16面】

野球同率で首位 東都大学春季リーグ戦(2部)



▲エース深澤の力投＝対國學院大(撮影・日下石聡子)

東都大学野球春季リーグ戦(2部)もいよいよ終盤戦を迎える。5月12日現在、6勝3敗・勝ち点3で國學院大と並び、首位を走る専大。柿沼伸彦主将(経済4・宇都宮学園高)は「プレッシャーはない。最後まで全力でプレーするだけです」と力強く語った。

【國学大1回戦】

両チームチャンスを生かせず無得点で迎えた4回、照沼大(経営4・茨城東高)のタイムリーで2点を先制。その後も着実に点を重ね、4-0で制した。

【國学大2回戦】

2点を先制されて迎えた4回に打線が爆発、一気に6点を取り試合をひっくり返した。リリーフ陣が踏ん張り、勝ち点を挙げた。

【立正大2回戦】

1点を追う専大は3回、杉田暁彦(商4・高陽東高)の犠牲フライで同点とすると、4回には柿沼主将の内野安打をきっかけに打線がつながり逆転。先発した深澤季生(経営3・藤嶺学園藤沢高)は初回到1点を失い、不安定な立ち上がりとなったが、その後は安定したピッチングで完投。5-1で立正大を降した。

【立正大4回戦】

白熱した投手戦を展開。8回裏に杉田がタイムリーで挙げた1点を深澤、阿部正太郎(経済2・新潟明訓高)のリレーで守りきり、1-0の完封勝ち。勝ち点を挙げた。(末永恵・文2)

【ニュース専修5月号16面】

相撲・堂々の準優勝

全国選抜大学・社会人対抗九州大会



▲チームの準優勝に貢献した4人。
前列左から池山、成川、後列左から中
西、今林

全国選抜大学・社会人対抗相撲九州大会が5月5日、福岡県「雲龍の郷」常設相撲場で行われ、専大は団体戦準優勝の好成績を収めた。

学生と実業団が混合して競う今大会。予選では近大、中大との同点決勝を制し、決勝トーナメントに進出。「期待以上の実力を発揮してくれた」と大野孝弘監督が言うように、力と技、そして抜群の集中力を見せた。実業団を抑えての2位という結果に、中西健二主将(経営4・目黒学院高)は「今年度の良いスタートが切れました」と喜びを語った。

また、4月29日に宇和島市営体育館で行われた全日本大学選抜相撲宇和島大会でも団体4位入賞。5月3日に宇佐市総合運動場宇佐相撲場で行われた全国大学選抜相撲宇佐大会では、個人で中西がベスト8と健闘した。(大野 愛子・経済3)

【ニュース専修5月号16面】